

第2期八潮市国民健康保険保健事業実施計画
(データヘルス計画)

第3期八潮市特定健康診査等実施計画

中間評価報告書

平成30年度 ~ 令和5年度



八潮市けんこう大使

ハッピーごまちゃん®

令和3年3月

八潮市

目 次

第1章 第2期データヘルス計画の中間評価について	1
1 はじめに	1
第2章 第2期データヘルス計画の中間評価	2
1 目標	2
2 評価方法	2
(1) 短期的成果目標に対する評価	3
(2) 中長期成果目標に対する評価	3
3 中間評価	4
(1) 生活習慣病予防対策の充実・強化	4
(2) 生活習慣病の重症化予防事業	11
(3) 後発医薬品の使用促進	13
(4) 医療費の状況	15
(5) 特定健康診査結果で糖尿病に関連する項目が受診 勧奨値以上の人数及び割合	17
(6) 特定健康診査結果で血圧が受診勧奨値以上の人数 及び割合	18
(7) 特定健康診査結果で脂質に関連する項目が受診勧 奨値以上の人数及び割合	19
(8) 保健事業の実施内容	20
個別保健事業 事業評価シート	22

第1章 第2期データヘルス計画の中間評価について

1 はじめに

八潮市では、平成30年度から令和5年度までを計画期間とする「第3期八潮市特定健康診査等実施計画」の策定に併せて、「第2期八潮市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）」を一体的に策定することで、保健事業の中核をなす特定健康診査及び特定保健指導の実施率の向上などを図るとともに、特定健康診査の結果等やKDBシステムに基づく様々な分析など踏まえ、被保険者に対する保健事業に取り組んできたところである。

令和2年度は、計画期間の中間となるため、本計画が軌道に乗っているかなどを確認し、計画が滞っている場合には、事業効果を高めるための改善策等を検討、目標達成に向けての方向性を見出すため、中間評価を行うこととした。

中間評価にあたり、データヘルス計画を構成する個別保健事業計画に基づいて実施された事業の実績等を振り返り、計画の目的・目標の達成状況・指標の在り方について、データ分析等をもとに整理、評価を行うものである。評価の結果、目標達成が困難と見込まれる事業については、課題や目標達成を阻害する要因を分析し、改善方法を検討の上、必要に応じて実施内容等の見直しを行った。

データヘルス計画のスケジュール

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
策定	第2期データヘルス計画						
	H30年度実績	R1年度実績	R2年度実績				
			中間評価	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	
						計画策定	第3期

第2章 第2期データヘルス計画の中間評価

1 目標

第2期八潮市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）における目的・目標は、次のとおり設定している。

	短期目標	中長期目標
生活習慣病予防対策の充実・強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定健康診査受診率を60%にする。 ・ 特定保健指導実施率を60%にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定健康診査受診率の向上を図り、健康状態の把握率を高める。 ・ 特定保健指導の実施率を向上させる。 ・ 保健部門と連携し生活習慣病予防（生活習慣の改善）対策に向けた取り組みを行う。
生活習慣病の重症化予防事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 糖尿病重症化予防事業の保健指導事業参加者の中から新規人工透析患者を0人にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健指導実施を継続し、糖尿病性腎症患者の人工透析への移行を防ぐ。
後発医薬品の使用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ ジェネリック医薬品の利用率を75%にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ジェネリック医薬品の利用率80%を目指す。

2 評価方法

中間評価にあたっては、国保データベース（KDB）システムに収載されるデータや特定健康診査の国への実績報告後のデータ等を用いて行うものとする。

具体的には、短期的・中長期目標に対する現状評価や個別保健事業 事業評価シート（中間評価）を用いて、次のような観点から評価を行う。

評価方法の観点

<p>① 構造（ストラクチャー）</p> <p>保健事業を実施するための仕組みや体制（職員の体制、予算等）</p>
<p>② 過程（プロセス）</p> <p>事業の目的や目標達成に向けた過程や活動状況（情報収集、問題の分析等）</p>
<p>③ 事業実施量（アウトプット）</p> <p>目的・目標の達成のために行われる事業の結果（受診率、利用率等）</p>
<p>④ 結果（アウトカム）</p> <p>事業の目的や目標の達成度、また成果の数値目標（結果の変化、医療費の変化等）</p>

(1) 短期的成果目標に対する評価

- ・ 特定健康診査受診率（法定報告）
- ・ 特定保健指導実施率（法定報告）
- ・ 新規人工透析患者数
- ・ ジェネリック医薬品（後発医薬品）利用率（前年度比較）
- ・ 各事業において設定した評価指標

(2) 中長期成果目標に対する評価

- ・ 特定健康診査受診率（法定報告）
- ・ 特定保健指導実施率（法定報告）
- ・ 医療費の変化
- ・ 特定健康診査結果で糖尿病に関連する項目が受診勧奨値以上の人数及び割合
- ・ 特定健康診査結果で血圧が受診勧奨値以上の人数及び割合
- ・ 特定健康診査結果で脂質に関連する項目が受診勧奨値以上の人数及び割合

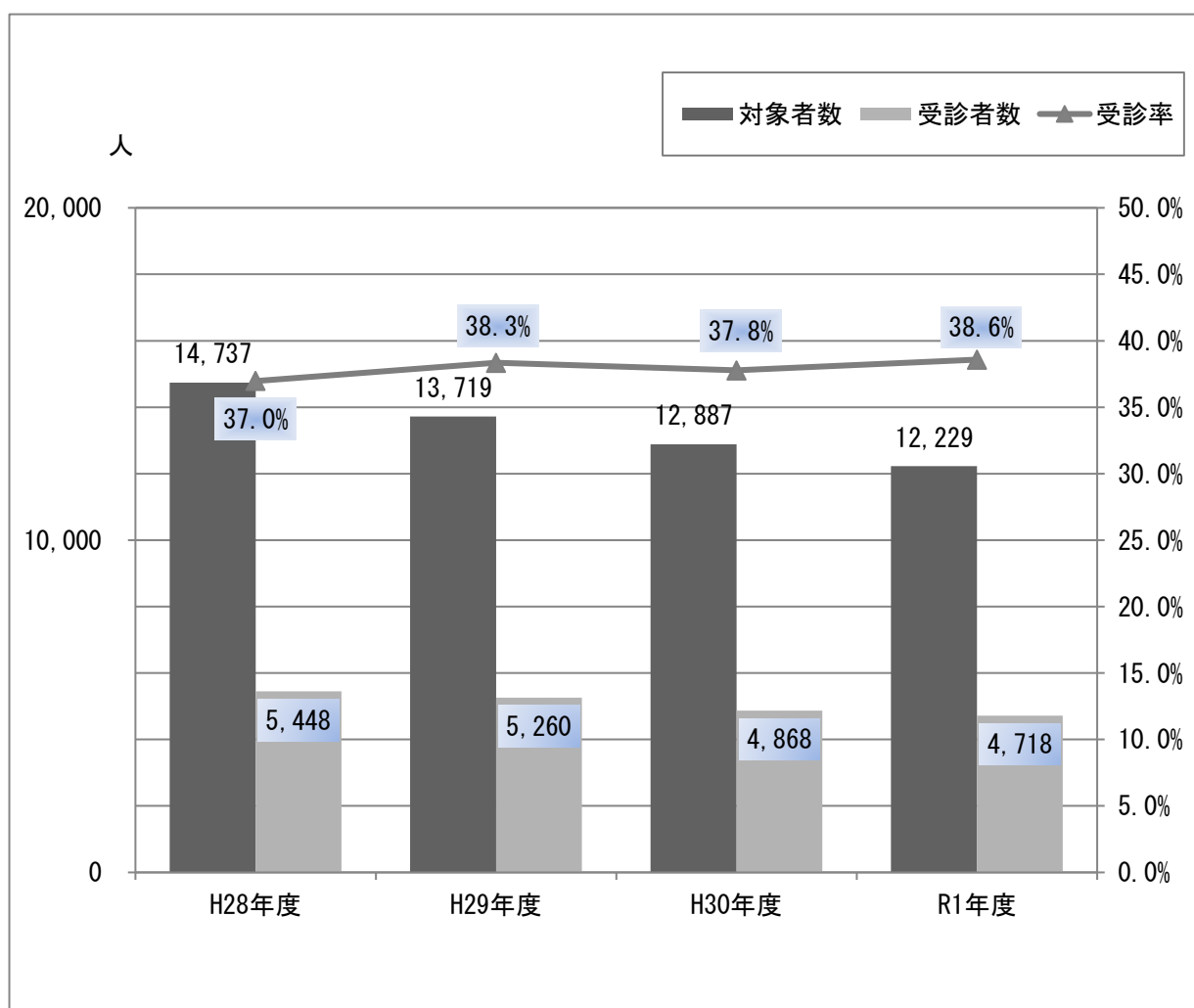
3 中間評価

(1) 生活習慣病予防対策の充実・強化①

短期目標	特定健康診査受診率を60%にする。															
中長期目標	特定健康診査受診率の向上を図り、健康状態の把握率を高める。															
指標	特定健康診査受診率の目標値															
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度										
	40%	42%	44%	50%	55%	60%										
対象者	40歳から74歳までの国民健康保険被保険者															
事業内容	<p>【特定健康診査】</p> <p>受診券の送付時に同封するパンフレットにより、特定健診の定期受診や生活習慣病の早期発見の重要性を啓発し、未受診者層の受診率向上に努めている。</p> <p>【特定健康診査受診率向上対策】</p> <p>① 受診勧奨</p> <p>未受診者に対し、電話勧奨及び受診勧奨はがきを送付した。</p> <table border="1"> <tr> <td>電話勧奨</td> <td>平成30年度</td> <td>6,172件</td> <td>令和元年度</td> <td>5,197件</td> </tr> <tr> <td>勧奨はがき</td> <td>平成30年度</td> <td>8,868件</td> <td>令和元年度</td> <td>7,747件</td> </tr> </table> <p>② 特定健康診査受診促進</p> <p>さいかつ農協支店（八潮市）で結果提供依頼活動を行った。</p> <p>平成30年度 26件（平成30年度で終了）</p> <p>③ 人間ドック・脳ドック補助金助成事業</p> <p>人間ドック補助金申請要件とし、健診結果の提供を促進した。</p> <p>令和元年度 103件（令和元年度から実施）</p> <p>④ PR活動</p> <p>広報やしお3月、4月、5月、7月、8月、10月、11月号に特定健診の案内を掲載した。</p> <p>やしお840メール配信サービスを8月、11月に配信した。</p> <p>ポスターを公共施設、町会掲示板に掲載した。</p> <p>イベント会場（枝豆まつり、市民まつり、健康まつり、東部地区保険者合同PR）にて、来場者に特定健康診査のPR活動を実施した。</p>						電話勧奨	平成30年度	6,172件	令和元年度	5,197件	勧奨はがき	平成30年度	8,868件	令和元年度	7,747件
電話勧奨	平成30年度	6,172件	令和元年度	5,197件												
勧奨はがき	平成30年度	8,868件	令和元年度	7,747件												
実施体制等	<p>正規職員1名、委託職員2名体制で受診勧奨を実施している。</p> <p>健康増進課と連携し、特定健診受診者に対する健康相談会を実施し、継続受診を促進している。</p>															
実績	特定健康診査受診率															
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度										
	37.8%	38.6%	-	-	-	-										

評価	特定健康診査の受診率は、少しずつ上昇しているものの、年次目標より低い割合で推移している。受診勧奨はがきの発送後（10月）は、受診率が前月を大きく上回ることから、高い効果がみられる。
課題等	被保険者の約6割が特定健診を受けていない。年齢が下がるごとに受診率が低下し、すべての年代において男性の受診率が低い。
次年度に向けて	特定健康診査の受診率向上のため、受診勧奨はがきの早期発送や受診しやすい環境を整備するためのアンケート調査などを行い、その結果を踏まえ、受診者の特性に沿った取り組みを行っていく。

【図10】特定健康診査受診率の推移



出典：特定健診等データ管理システム法定報告データ

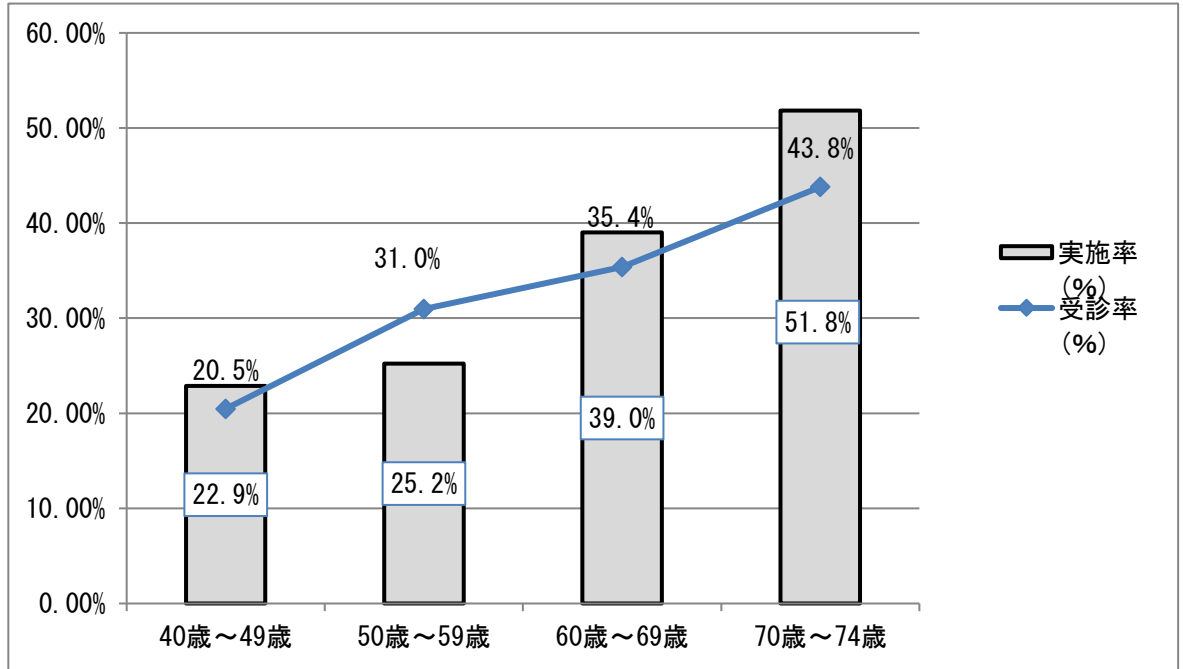
【表7】 電話勧奨の実施状況

区 分		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
1. 実施状況の内訳	① 実施者	39%	39%	37%	34%	31%
	② 不在者	42%	40%	43%	47%	48%
	③ 電話番号不明	13%	15%	15%	14%	15%
	④ その他	6%	6%	5%	4%	7%
2. 勧奨相手	① 本人	53%	51%	53%	53%	54%
	② 家族	46%	48%	47%	47%	46%
	③ その他	0%	1%	0%	0%	0%
3. 健診受診予定	① 国保健診（予定あり）	29%	32%	28%	28%	29%
	② 他の健診（予定あり）	3%	4%	2%	2%	2%
	③ 国保健診（受診済み）	19%	5%	5%	5%	5%
	④ 他の健診（受診済み）	1%	2%	2%	2%	1%
4. 未受診理由 ※ 勧奨実施者中、「検討中」または「未受診（受診予定なし）」の者の未受診理由	① 治療中だから	44%	41%	44%	45%	33%
	② 多忙だから	4%	2%	2%	2%	1%
	③ 面倒だから	1%	0%	0%	0%	0%
	④ 費用が高額だから	0%	0%	0%	0%	0%
	⑤ 知らなかった	0%	0%	0%	0%	0%
	⑥ 健康だから	4%	3%	1%	2%	1%
	⑦ 無関心	3%	3%	2%	2%	1%
	⑧ 検討中	38%	48%	50%	47%	61%
	⑨ その他	6%	3%	2%	2%	2%

出典：電話勧奨実施状況報告書

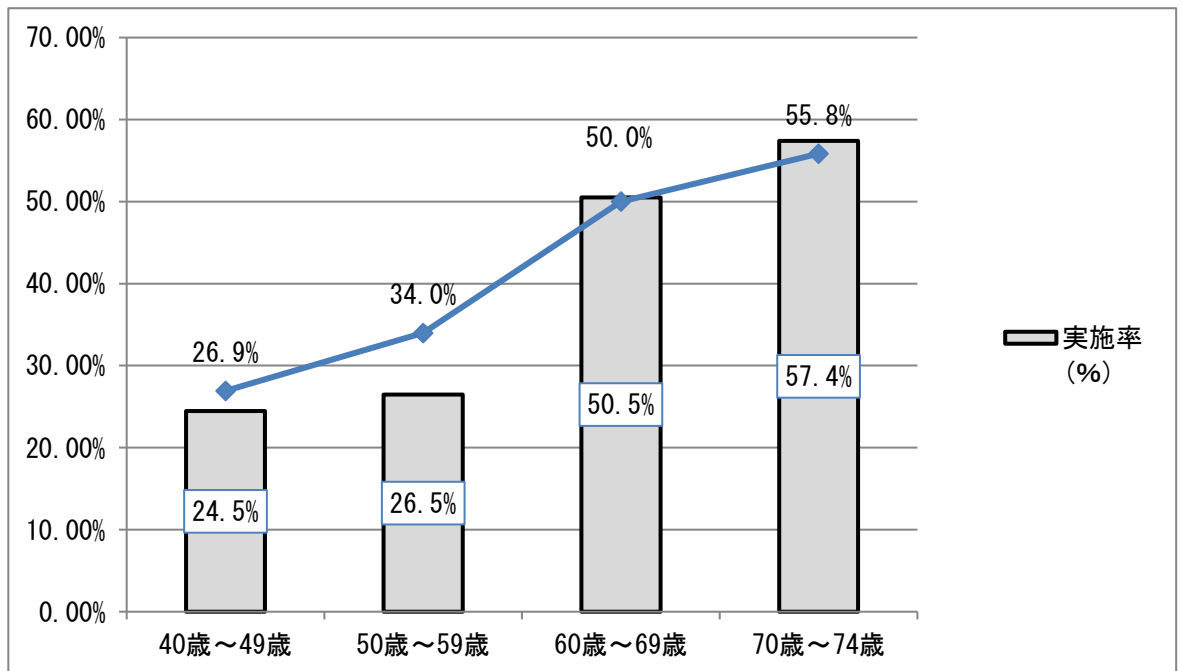
【図 1 3】平成 3 1 年度電話勧奨実施率と受診率

男性



出典：電話勧奨実施状況報告書

女性



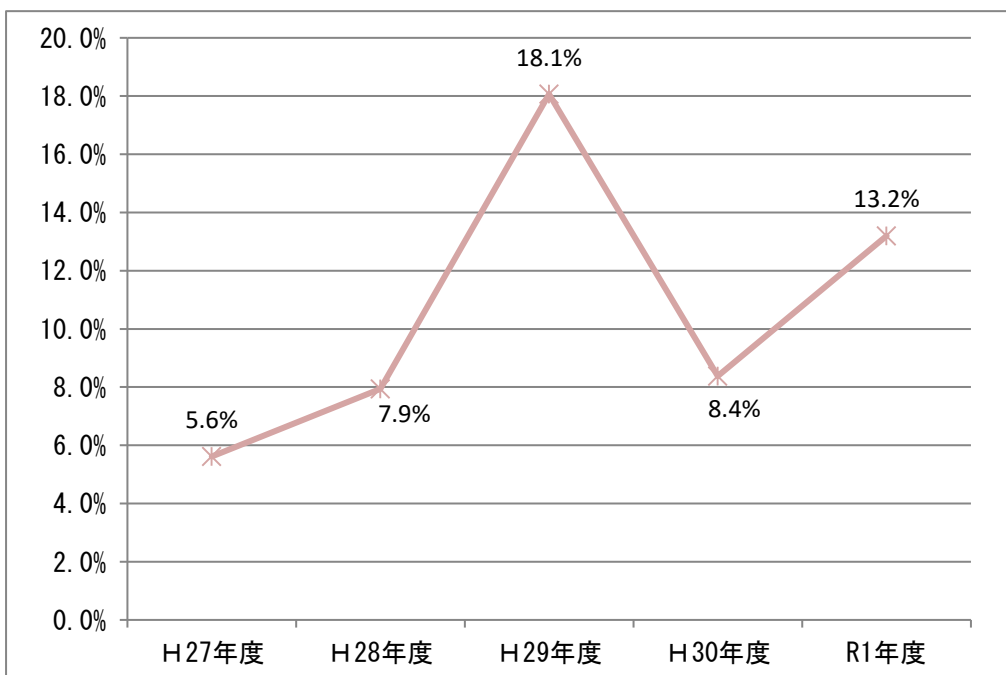
出典：電話勧奨実施状況報告書

(1) 生活習慣病予防対策の充実・強化②

短期目標	特定保健指導実施率を60%にする。					
中長期目標	特定保健指導の実施率を向上させる。 保健部門と連携し生活習慣病予防（生活習慣の改善）対策に向けた取り組みを行う。					
指標	特定保健指導実施率の目標値					
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	28%	32%	40%	48%	55%	60%
対象者	特定保健指導対象者					
事業内容	<p>【動機付け支援】</p> <p>動機付け支援とは、健診結果・標準的な質問票から、生活習慣の改善が必要と判断された人で、生活習慣病の変容を促すに当たり、行動目標の設定やその評価に支援が必要な人を対象とします。</p> <p>(1) 初回面談</p> <p>1人20分以上の個別面接又は1グループおおむね80分以上のグループ面接（1グループはおおむね8名以下とする。）により、次の支援を行う。</p> <p>① 生活習慣と健診結果の関係性や生活習慣の振返り、メタボリックシンドロームや生活習慣病に関する知識と対象者の生活が及ぼす影響、生活改善の必要性の説明。</p> <p>② 生活習慣を改善するメリット、現在の生活を継続することのデメリットの説明。</p> <p>③ 体重・腹囲の測定方法や栄養・運動といった、生活習慣の改善に必要な目安などを具体的に支援。</p> <p>④ 対象者の行動目標や評価時期の設定と必要な社会資源などの活用を支援。</p> <p>(2) 3か月後の評価</p> <p>個別面接、グループ面接、電話やメールなどにより、身体的状況や生活習慣に変化が見られたかについて評価を行う。</p>					
	<p>【積極的支援】</p> <p>積極的支援とは、健診結果・標準的な質問票から、生活習慣の改善が必要と判断された人で、そのために保健指導実施者による継続的できめ細やかな継続的支援が必要な人を対象とします。</p> <p>(1) 初回面談</p> <p>1人20分以上の個別面接又は1グループおおむね80分以上のグループ面接（1グループはおおむね8名以下とする。）により、次の支援を行う。</p> <p>① 生活習慣と健診結果の関係性や生活習慣の振返り、メタボリックシンドロームや生活習慣病に関する知識と対象者の生活が及ぼす影響、生活改善の必要性の説明。</p> <p>② 生活習慣を改善するメリット、現在の生活を継続することのデメリットの説明。</p>					

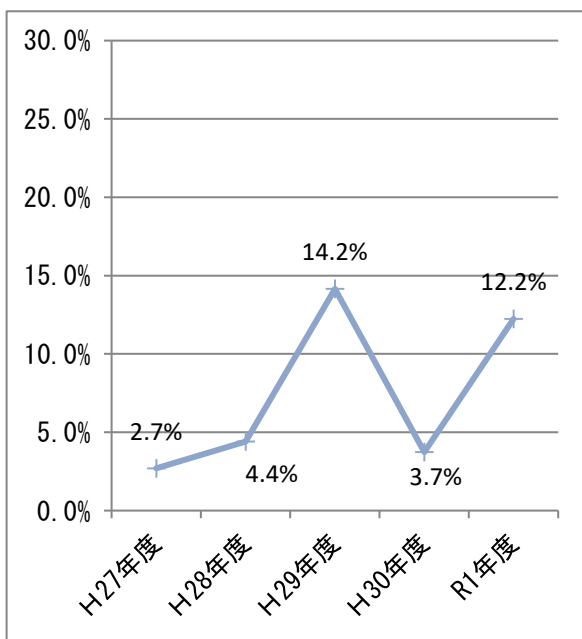
事業内容	<p>③ 体重・腹囲の測定方法や栄養・運動といった、生活習慣の改善に必要な目安などを具体的に支援。</p> <p>④ 対象者の行動目標や評価時期の設定と必要な社会資源などの活用を支援。</p> <p>(2) 3か月後の評価 初回面接後、3か月以上継続的に個別面接、グループ面接、電話やメールなどにより次のような支援を行う。 また、3か月经過した時点で取り組んでいる実践と結果についての評価と再アセスメントをし、必要に応じて改めて行動目標や計画の設定を行う。</p> <p>① 初回面接以降の生活習慣の状況を確認する。</p> <p>② 栄養・運動など、生活習慣の改善に必要な支援をするとともに、必要に応じて行動維持の推奨を行う。</p> <p>(3) 3か月後の評価 個別面接、グループ面接、電話やメールなどにより、身体的状況や生活習慣に変化が見られたかについて評価を行う。</p> <p>【特定保健指導実施率向上対策】</p> <p>① PR活動 広報やしお9月号、12月号に特定保健指導の案内を掲載した。</p> <p>② 個別勧奨 未受診者に対し、電話勧奨及び受診勧奨はがきを送付した。</p> <table border="1" data-bbox="405 1182 1187 1263"> <tr> <td>電話勧奨</td> <td>平成30年度</td> <td>223件</td> <td>平成31年度</td> <td>365件</td> </tr> <tr> <td>勧奨はがき</td> <td>平成30年度</td> <td>52件</td> <td>平成31年度</td> <td>82件</td> </tr> </table>	電話勧奨	平成30年度	223件	平成31年度	365件	勧奨はがき	平成30年度	52件	平成31年度	82件		
電話勧奨	平成30年度	223件	平成31年度	365件									
勧奨はがき	平成30年度	52件	平成31年度	82件									
実施体制等	<p>正規職員1名及び委託事業者で受診勧奨を実施している。</p> <p>健康増進課と連携し、動機付け支援を実施している。</p>												
実績	<p>特定保健指導実施率</p> <table border="1" data-bbox="405 1464 1401 1559"> <thead> <tr> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8.4%</td> <td>13.2%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	8.4%	13.2%	-	-	-	-
平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度								
8.4%	13.2%	-	-	-	-								
評価	<p>特定保健指導の実施率は、少しずつ上昇しているものの、年次目標より低い割合で推移している。</p>												
課題等	<p>保健指導の必要性の高い積極的支援対象者の実施率が、動機付け支援対象者に比べて低くなっている。</p>												
次年度に向けて	<p>保健指導の実施率向上のため、面談方式による保健指導のほか、令和2年度からインターネットを活用したICT面談を導入した。保健指導の対象者に対しては、疾病が重症化したときなどを例示し、保健指導の有効性を伝えることで、参加への意欲を促す。</p>												

【図16】 特定保健指導実施率



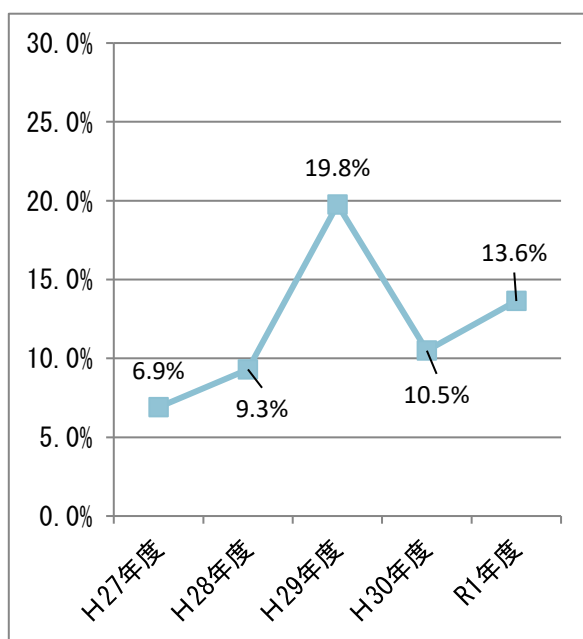
出典：特定健診等データ管理システム法定報告データ

【図17】 積極的支援実施率



出典：特定健診等データ管理システム法定報告データ

【図18】 動機付け支援実施率



出典：特定健診等データ管理システム法定報告データ

(2) 生活習慣病の重症化予防事業

短期目標	糖尿病重症化予防事業の保健指導事業参加者の中から新規人工透析患者を0人に する。					
中長期目標	保健指導実施を継続し、糖尿病性腎症患者の人工透析への移行を防ぐ。					
指標	新規人工透析患者数の目標値					
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	0人	0人	0人	0人	0人	0人
対象者	受診勧奨値で医療受診していない者、受診中断者 重症化（人工透析）するリスクの高い者					
事業内容	<p>【受診勧奨通知】</p> <p>糖尿病治療を受けていない者、中断している者に対し、医療機関への受診を 呼びかける。</p> <p>【保健指導】</p> <p>糖尿病治療のために通院している者で、生活習慣の見直しが必要な者に対し、 生活習慣改善のための支援を実施する。</p> <p>【継続支援】</p> <p>保健指導が修了した者に対し、継続的に病状の確認及び自己管理維持のため の支援を実施する。</p>					
実施体制等	正規職員1名 埼玉県共同事業に参加（株式会社NTTデータに委託）					
実績	新規人工透析患者数					
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	0人	0人	-	-	-	-
評価	保健指導参加者数は少ないが、参加者における新規人工透析患者数は0人である ことから、事業効果は高い。					
課題等	参加者の割合が低く、より多くの対象者に参加してもらう必要がある。本 事業は、埼玉県の共同事業として、株式会社NTTデータに委託しており、県及び 県内市町村と連携した事業展開が必要である。					
次年度に 向けて	埼玉県をはじめとする事業関係者と事業内容を検討する。令和3年度には、受 診勧奨の前倒しや、オンライン面談の導入を検討していく。					

・ 新規人工透析患者数

【表 1 2】人工透析年齢階級別新規患者数

年度	糖尿病性腎症重症化予防対策事業		新規患者数		患者数 (全体)
	保健指導対象者	保健指導参加者	事業参加者	全体	
H28年度	56人	5人	0人	18人	64人
H29年度	111人	3人	0人	12人	66人
H30年度	67人	5人	0人	10人	63人
R1年度	77人	6人	0人	15人	58人
合計	311人	19人	0人	55人	

出典： K D B システム 「医療費分析(1)細小分類（平成28年度～令和2年度）」

「厚生労働省様式2-2人工透析患者一覧（各年6月）」

生活習慣病重症化予防対策事業 事業報告書

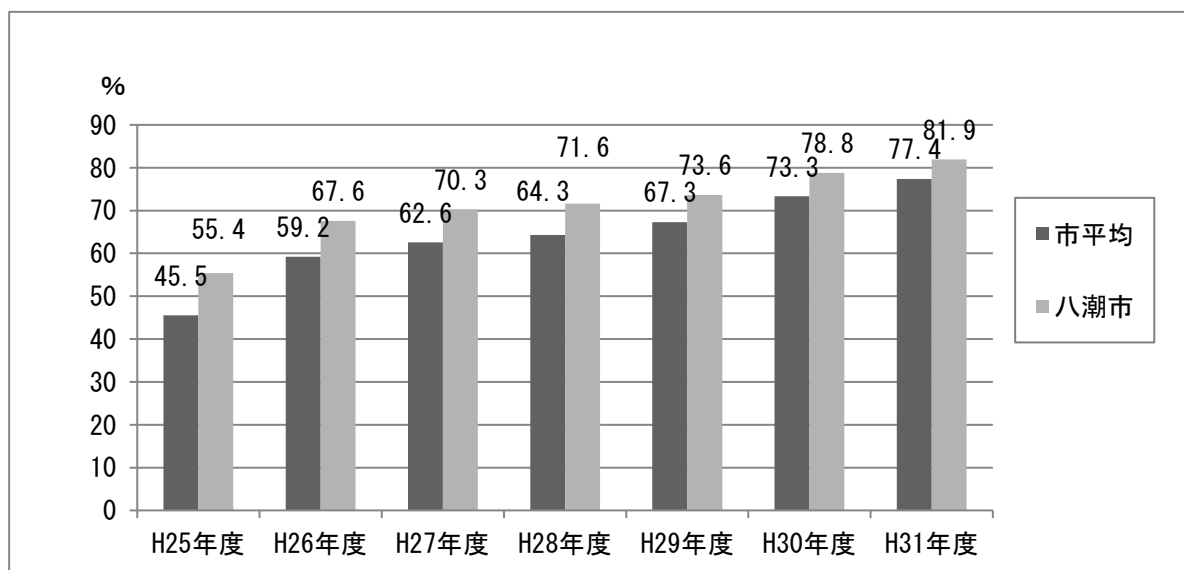
(3) 後発医薬品の使用促進

短期目標	ジェネリック医薬品の利用率を75%にする。					
中長期目標	ジェネリック医薬品の利用率80%を目指す。					
指標	ジェネリック医薬品の利用率の目標値					
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	-	-	-	-	-	75.0%
対象者	国民健康保険加入者					
事業内容	<p>【ジェネリック医薬品差額通知】</p> <p>診療報酬等の情報に基づき、ジェネリック医薬品を使用した場合の具体的な自己負担の差額に関して、被保険者に年2回通知した。</p> <p>平成30年度 891件 令和元年度 620件</p> <p>健康保険証の交付時に、ジェネリック医薬品希望シールを同封し、利用促進を行った。</p>					
実施体制等	正規職員1名					
実績	ジェネリック医薬品の利用率					
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	78.8%	81.9%	-	-	-	-
評価	ジェネリック医薬品の利用率は令和元年度に中長期目標に掲げている利用率80%を上回ることができた。引き続き、利用率80%以上を継続するため、ジェネリック医薬品についてのさらなる利用促進を図っていく。					
課題等	ジェネリック医薬品の効能性に疑問を持ち、先発医薬品を希望する人がいるため、効能性を周知する取り組みが必要である。 また、低年齢層の利用率が低い。					
次年度に向けて	ジェネリック医薬品の効能性を周知するため、関係機関に働きかけ、普及促進を図っていく。 また、低年齢層の利用率を向上させるため、ジェネリック医薬品の希望シールを関係課窓口に置く。					

・ジェネリック医薬品(後発医薬品)利用率(前年度比較)

⑤ ジェネリック医薬品の普及状況

【図24】ジェネリック医薬品利用率の推移



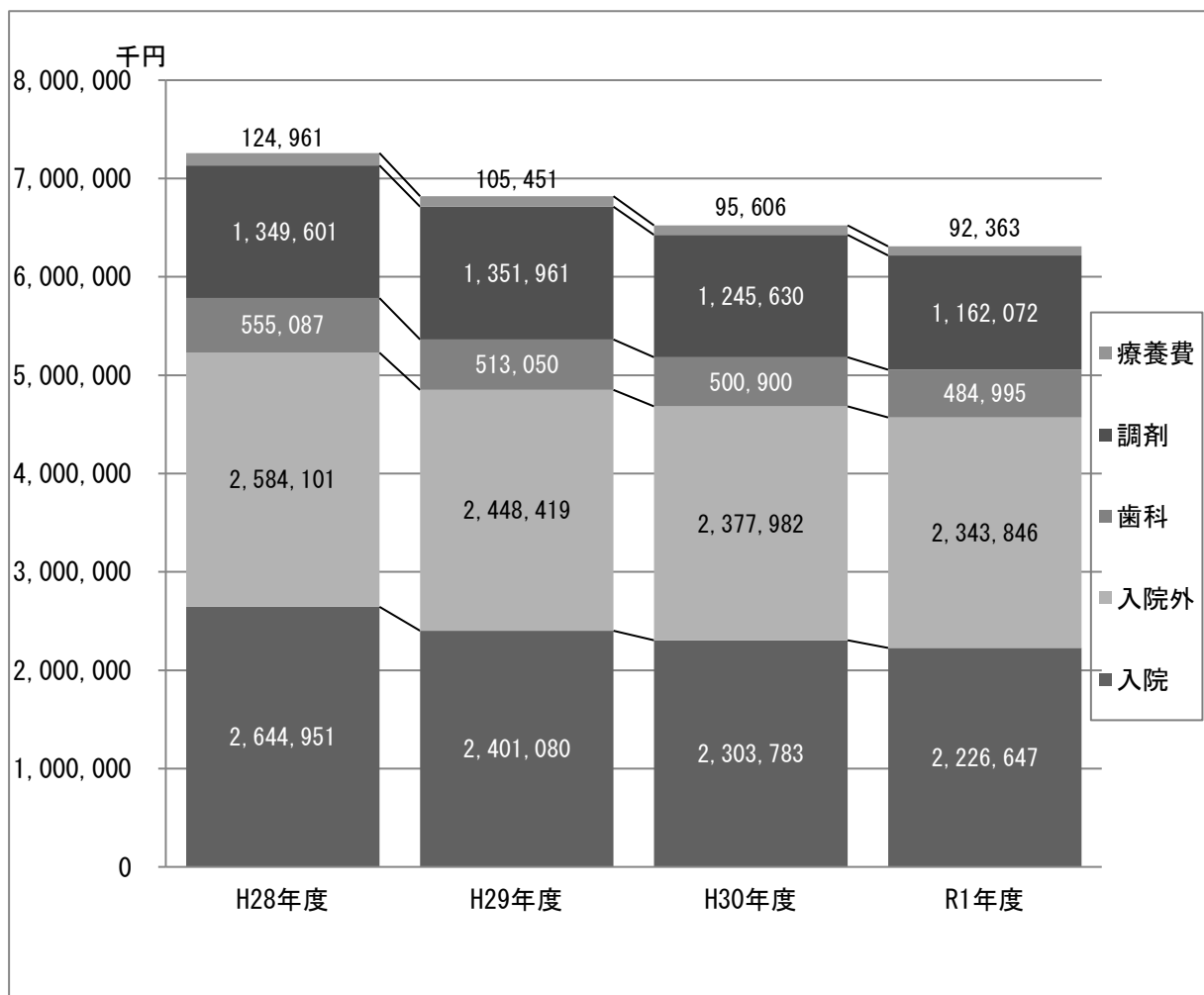
出典：埼玉県国民健康保険における医療費等の状況

(4) 医療費の状況

① 医療費の年次推移

被保険者数の減少に伴い、平成28年度以降の医療費は減少傾向にある。

【図6】医療費の年次推移



出典：国民健康保険事業状況報告

【表4】医療費の年次推移

(単位：千円)

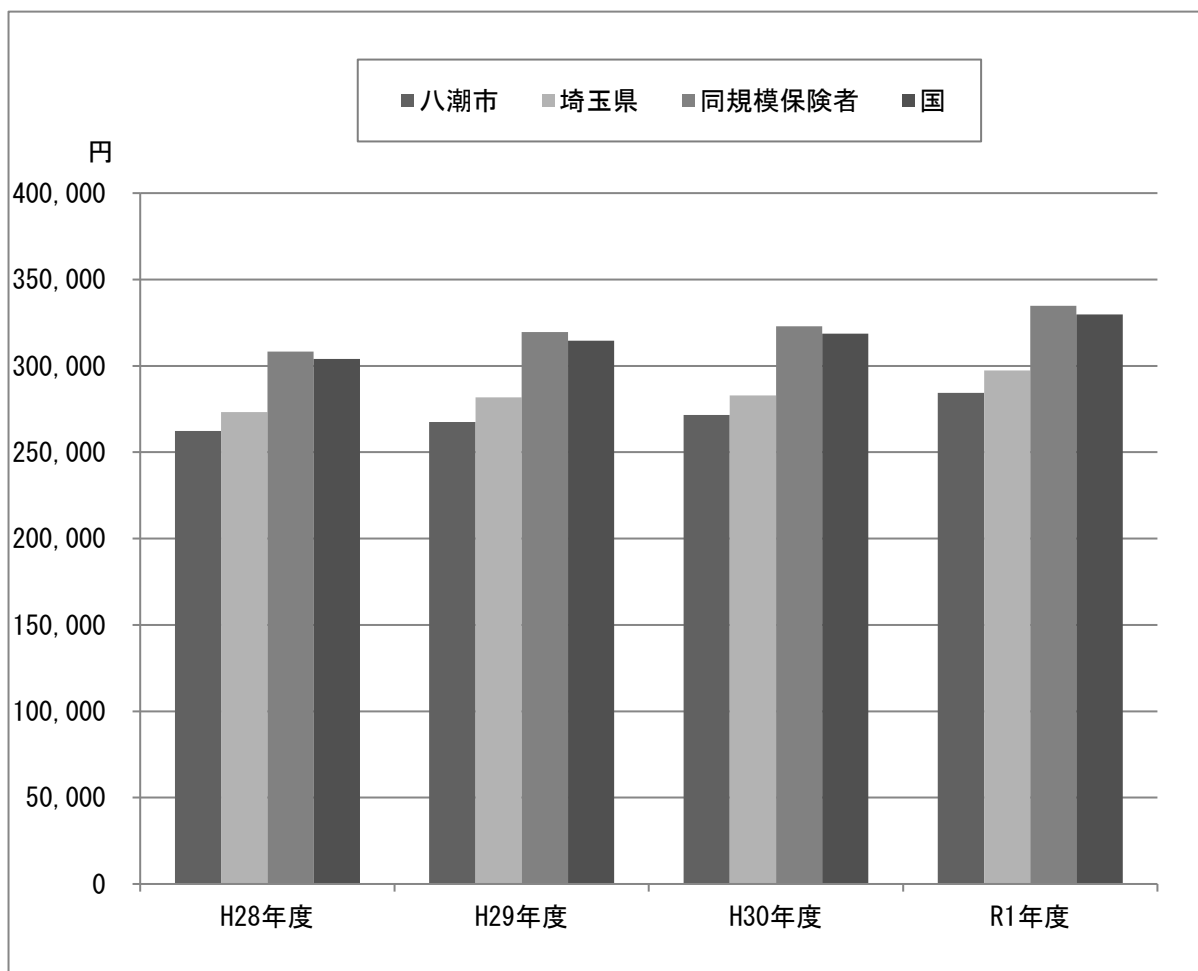
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
入院	2,644,951	2,401,080	2,303,783	2,226,647
入院外	2,584,101	2,448,419	2,377,982	2,343,846
歯科	555,087	513,050	500,900	484,995
調剤	1,349,601	1,351,961	1,245,630	1,162,072
療養費	124,961	105,451	95,606	92,363
合計	7,258,701	6,819,961	6,523,901	6,309,923

出典：国民健康保険事業状況報告

② 一人当たり医療費の年次推移

一人当たりの医療費は国、同規模保険者よりは少なく、埼玉県平均より若干少ない水準にあるが増加傾向にある。

【図7】一人当たり医療費の年次推移



出典：KDBシステム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

【表5】一人当たり医療費の年次推移

(単位：円)

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
八潮市	262,241	267,491	271,492	284,400
埼玉県	273,182	281,702	282,897	297,242
同規模保険者	308,172	319,585	322,884	334,747
国	304,049	314,487	318,655	329,700

出典：KDBシステム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

(5) 特定健康診査結果で糖尿病に関連する項目が受診勧奨値以上の人数及び割合

血糖・HbA1c

血糖の基準値を超えている人の総数のうち、男性は全国、県より低い割合になっている。
HbA1cの基準値を超えている人の総数の割合は、男女ともに全国、県より低い割合となっている。

男 性	受診者 (人)	血糖				H b A 1 c				
		100mg/dl 以上	割合 (%)	標準化 比(全 国)	標準化 比(県)	5.6%以上	割合 (%)	標準化 比(全 国)	標準化 比(県)	
40 ～ 64 歳	全国	872,718	217,547	24.9%	100.0	113.1	409,729	46.9%	100.0	98.4
	県	51,786	11,323	21.9%	88.4	100.0	24,561	47.4%	101.7	100.0
	八潮市	704	181	25.7%	106.1	120.6	335	47.6%	103.7	102.1
65 ～ 74 歳	全国	2,122,422	704,118	33.2%	100.0	*107.0	1,349,085	63.6%	100.0	97.5
	県	136,480	42,317	31.0%	*93.5	100.0	89,012	65.2%	102.6	100.0
	八潮市	1,262	368	29.2%	87.9	94.0	798	63.2%	99.3	96.9
総 数	全国	2,995,140	921,665	30.8%	100.0	108.3	1,758,814	58.7%	100.0	97.7
	県	188,266	53,640	28.5%	92.4	100.0	113,573	60.3%	102.4	100.0
	八潮市	1,966	549	27.9%	93.2	101.3	1,133	57.6%	100.6	98.4

出典：KDBシステム「健診有所見者状況（男女別・年代別）」平成31年度データより計算

女 性	受診者 (人)	血糖				H b A 1 c				
		100mg/dl 以上	割合 (%)	標準化 比(全 国)	標準化 比(県)	5.6%以上	割合 (%)	標準化 比(全 国)	標準化 比(県)	
40 ～ 64 歳	全国	1,159,913	160,311	13.8%	100.0	111.8	522,749	45.1%	100.0	96.6
	県	68,217	8,390	12.3%	89.4	100.0	31,693	46.5%	103.5	100.0
	八潮市	813	105	12.9%	98.2	110.3	352	43.3%	100.1	96.7
65 ～ 74 歳	全国	2,852,176	600,581	21.1%	100.0	104.2	1,796,633	63.0%	100.0	97.9
	県	182,540	36,910	20.2%	95.9	100.0	117,595	64.4%	102.2	100.0
	八潮市	1,953	418	21.4%	101.4	105.6	1,151	58.9%	93.4	91.4
総 数	全国	4,012,089	760,892	19.0%	100.0	105.6	2,319,382	57.8%	100.0	97.6
	県	250,757	45,300	18.1%	94.7	100.0	149,288	59.5%	102.5	100.0
	八潮市	2,766	523	18.9%	100.7	106.5	1,503	54.3%	94.9	92.6

出典：KDBシステム「健診有所見者状況（男女別・年代別）」平成31年度データより計算

(6) 特定健康診査結果で血圧が受診勧奨値以上の人数及び割合

血 圧

収縮期血圧及び拡張期血圧の基準値を超えている人の総数の割合は、男女とも全国、県より低い割合となっている。

男 性	受診者 (人)	収縮期血圧					拡張期血圧			
		130mmHg 以上	割合 (%)	標準化 比(全 国)	標準化 比(県)	85mmHg 以上	割合 (%)	標準化 比(全 国)	標準化 比(県)	
40 ～ 64 歳	全国	872,718	340,382	39.0%	100.0	96.0	250,066	28.7%	100.0	96.5
	県	51,786	20,896	40.4%	104.2	100.0	15,367	29.7%	103.7	100.0
	八潮市	704	278	39.5%	104.0	99.5	191	27.1%	94.4	90.9
65 ～ 74 歳	全国	2,122,422	1,141,198	53.8%	100.0	97.8	479,460	22.6%	100.0	96.1
	県	136,480	75,048	55.0%	102.2	100.0	32,014	23.5%	104.1	100.0
	八潮市	1,262	666	52.8%	98.0	95.9	203	16.1%	71.7	68.9
総 数	全国	2,995,140	1,481,580	49.5%	100.0	97.4	729,526	24.4%	100.0	96.2
	県	188,266	95,944	51.0%	102.6	100.0	47,381	25.2%	104.0	100.0
	八潮市	1,966	944	48.0%	99.7	96.9	394	20.0%	81.2	78.0

出典：KDBシステム「健診有所見者状況（男女別・年代別）」平成31年度データより計算

女 性	受診者 (人)	収縮期血圧					拡張期血圧			
		130mmHg 以上	割合 (%)	標準化 比(全 国)	標準化 比(県)	85mmHg 以上	割合 (%)	標準化 比(全 国)	標準化 比(県)	
40 ～ 64 歳	全国	1,159,913	335,125	28.9%	100.0	93.1	173,296	14.9%	100.0	91.8
	県	68,217	21,065	30.9%	107.4	100.0	11,090	16.3%	109.0	100.0
	八潮市	813	241	29.6%	107.8	100.1	113	13.9%	94.8	87.0
65 ～ 74 歳	全国	2,852,176	1,415,549	49.6%	100.0	95.8	434,774	15.2%	100.0	93.0
	県	182,540	94,809	51.9%	104.4	100.0	29,857	16.4%	107.5	100.0
	八潮市	1,953	970	49.7%	99.5	95.3	228	11.7%	76.9	71.6
総 数	全国	4,012,089	1,750,674	43.6%	100.0	95.3	608,070	15.2%	100.0	92.7
	県	250,757	115,874	46.2%	105.0	100.0	40,947	16.3%	107.9	100.0
	八潮市	2,766	1,211	43.8%	101.1	96.3	341	12.3%	82.1	76.1

出典：KDBシステム「健診有所見者状況（男女別・年代別）」平成31年度データより計算

(7) 特定健康診査結果で脂質に関連する項目が受診勧奨値以上の人数及び割合

中性脂肪・LDLコレステロール

中性脂肪の基準値を超えている人の総数の割合は、男女とも全国、県に比べて高い割合となっている。

LDLコレステロールの基準値を超えている人の総数の割合は、男女とも全国、県より低い割合となっている。

男 性	受診者 (人)	中性脂肪				LDLコレステロール				
		150mg/dl 以上	割合 (%)	標準化 比(全 国)	標準化 比(県)	120mg/dl 以上	割合 (%)	標準化 比(全 国)	標準化 比(県)	
40 ～ 64 歳	全国	872,718	283,470	32.5%	100.0	103.9	463,307	53.1%	100.0	97.5
	県	51,786	16,225	31.3%	96.3	100.0	28,263	54.6%	102.6	100.0
	八潮市	704	298	42.3%	129.1	134.0	394	56.0%	104.4	101.9
65 ～ 74 歳	全国	2,122,422	558,798	26.3%	100.0	103.7	968,271	45.6%	100.0	96.1
	県	136,480	34,603	25.4%	96.4	100.0	64,740	47.4%	104.1	100.0
	八潮市	1,262	424	33.6%	128.1	132.8	539	42.7%	93.8	90.1
総 数	全国	2,995,140	842,268	28.1%	100.0	103.8	1,431,578	47.8%	100.0	96.5
	県	188,266	50,828	27.0%	96.4	100.0	93,003	49.4%	103.6	100.0
	八潮市	1,966	722	36.7%	128.5	133.3	933	47.5%	98.0	94.7

出典：KDBシステム「健診有所見者状況（男女別・年代別）」平成31年度データより計算

女 性	受診者 (人)	中性脂肪				LDLコレステロール				
		150mg/dl 以上	割合 (%)	標準化 比(全 国)	標準化 比(県)	120mg/dl 以上	割合 (%)	標準化 比(全 国)	標準化 比(県)	
40 ～ 64 歳	全国	1,159,913	165,430	14.3%	100.0	102.8	661,500	57.0%	100.0	98.4
	県	68,217	9,447	13.8%	97.3	100.0	39,459	57.8%	101.6	100.0
	八潮市	813	187	23.0%	164.6	168.9	441	54.2%	96.9	95.4
65 ～ 74 歳	全国	2,852,176	485,783	17.0%	100.0	106.5	1,654,327	58.0%	100.0	96.6
	県	182,540	29,205	16.0%	93.9	100.0	109,542	60.0%	103.6	100.0
	八潮市	1,953	488	25.0%	146.7	156.2	1,019	52.2%	90.2	87.1
総 数	全国	4,012,089	651,213	16.2%	100.0	105.6	2,315,827	57.7%	100.0	97.0
	県	250,757	38,652	15.4%	94.7	100.0	149,001	59.4%	103.0	100.0
	八潮市	2,766	675	24.4%	151.2	159.5	1,460	52.8%	92.1	89.4

出典：KDBシステム「健診有所見者状況（男女別・年代別）」平成31年度データより計算

(8) 保健事業の実施内容

【評価指標】

- ① ストラクチャー（構造）…保健事業を実施するための仕組みや体制（職員の体制、予算等）
- ② プロセス（過程）…事業の目的や目標達成に向けた過程や活動状況（情報収集、問題の分析等）
- ③ アウトプット（事業実施量）…目的・目標の達成のために行われる事業の結果（受診率、利用率等）
- ④ アウトカム（結果）…事業の目的や目標の達成度、また成果の数値目標（結果の変化、医療費の変化等）

事業名	事業内容	目的	対象者	実施期間	事業の概要	評価指標				
				平成30年度～平成35年度		ストラクチャー (構造)	プロセス (過程)	アウトプット (事業実施量)	アウトカム (結果)	
特定健康 診査	特定健康診査	生活習慣病の予防と早期発見	40歳から74歳までの国民健康保険被保険者	4～11月	市内医療機関での個別健診（4～11月）	・担当者の役割分担 ・予算	・事業の準備状況 ・実際の実施状況 ・事業の工夫点	・受診率【平成35年度目標：60%】 ・受診者数	医療費の推移	
	特定健康診査受診率向上対策	受診勧奨	受診率の向上	40歳から74歳までの国民健康保険被保険者	・10月頃（受診勧奨ハガキ送付） ・4～11月（電話勧奨）	・未受診者への受診勧奨ハガキの送付 ・電話での受診勧奨	・担当者の役割分担 ・予算	・事業の準備状況 ・実際の実施状況 ・事業の工夫点	勧奨者数	勧奨者の3割が受診
		特定健康診査受診促進	受診率の向上	40歳から74歳までの国民健康保険被保険者	・11月下旬～12月上旬頃	さいかつ農協の健康診断会場での結果提供依頼活動	・担当者の役割分担 ・予算	・事業の準備状況 ・実際の実施状況 ・事業の工夫点	・受診率【平成35年度目標：60%】 ・受診者数	受診のきっかけを把握
		人間ドック・脳ドック補助金助成事業	・受診率の向上 ・医療費の抑制	40歳から74歳までの国民健康保険被保険者	通年	人間ドック・脳ドック費用の7割（上限25,000円）を補助する。	・担当者の役割分担 ・予算	・事業の準備状況 ・実際の実施状況 ・事業の工夫点	・受診率【平成35年度目標：60%】 ・受診者数	受診のきっかけを把握
		PR活動	受診率の向上	40歳から74歳までの国民健康保険被保険者	・4月～11月（広報／ポスター／ホームページ） ・6月～11月（啓発品の配布）	・広報、ポスター、ホームページに掲載 ・イベント、窓口での啓発品の配布	・担当者の役割分担 ・予算	・事業の準備状況 ・実際の実施状況 ・事業の工夫点	啓発品配布数	受診のきっかけを把握

事業名	個別事業名	目的	対象者	実施期間	事業の概要	評価指標			
				平成30年度～平成35年度		ストラクチャー (構造)	プロセス (過程)	アウトプット (事業実施量)	アウトカム (結果)
特定保健指導	動機付け支援	生活習慣の改善・生活習慣病の予防	特定保健指導対象者		特定健康診査、人間ドック等の結果から対象者を抽出し、保健指導を実施	・予算 ・委託業者の選定	・事業の工夫点 ・実際の実施状況	・実施率 ・検査データ	検査データの改善状況
	積極的支援								
	特定保健指導実施率向上対策	PR活動	実施率の向上	特定保健指導対象者	・10月～2月 (広報/ホームページ) ・8月～3月 (通知・電話での利用勧奨)	・広報、ホームページへ掲載 ・委託業者等による通知、電話での利用勧奨	・担当者の役割分担 ・予算	・事業の準備状況 ・実際の実施状況 ・事業の工夫点	・実施率【平成35年度目標：60%】 ・検査データ
	個別勧奨			8月～3月	重症化のリスクが高い対象者に個別に利用勧奨を行う				
生活習慣病重症化予防事業	受診勧奨通知	人工透析への移行防止	受診勧奨値で医療受診していない者、受診中断者		通知・電話での受診勧奨	・予算 ・連合会との契約	事業の準備状況	・実施率 ・実施者の検査結果の変化	検査データの改善状況
	保健指導		重症化（人工透析）するリスクの高い者	保健指導					
医療費適正化対策	ジェネリック医薬品差額通知	医療費効率化	被保険者		・差額通知発送 ・利用促進シール配布	・予算 ・連合会への委託	・事業の準備状況 ・実際の実施状況	利用率	利用率の推移
	医療費通知	医療費適正化		通知発送				通知回数	医療費の推移
	診療報酬明細書点検	医療費適正化			医科、歯科、調剤、柔道整復の診療報酬明細書の点検	診療報酬明細書点検員の確保	実際の実施状況	点検件数	財政効果率

個別保健事業 事業評価シート（中間評価）

保険者名： 八潮市 事業名： 特定健康診査

事業目標： 生活習慣病予防対策の充実・強化

特定健康診査受診率	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
目標値	60%	40%	42%	44%	50%	55%	60%
実績	38.3%	37.8%	38.6%	集計中	-	-	-

		ストラクチャー評価	プロセス評価	アウトプット評価	アウトカム評価
目標と実績の違い及び課題等	特定健康診査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 担当者の役割、分担 正規職員1名 ・ 予算(R1年度) 需用費 2,028,838円 役務費 3,696,500円 委託料 72,049,000円 特定健康診査 封入封緘業務委託料 745,000円 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3月 医療機関に事業説明対象者に受診券送付 ・ 4～11月 草加八潮医師会と業務委託契約の上、特定健康診査実施 ・ 翌10月 法定報告にて受診者数、受診率確定 	受診者数・受診率 H28年度 5,446人 37.0% H29年度 5,260人 38.3% H30年度 4,868人 37.8% R1年度 4,718人 38.6%	一人当たり医療費 H28年度 262,241円 H29年度 267,491円 H30年度 271,492円 R1年度 284,400円
改善策の検討	特定健康診査	次年度以降も継続する。	次年度以降も継続する。	目標値と実績値が大きくかい離しており、受診率の向上が課題。	特定健診受診を機に医療機関を受診した者もあり、一人当たり医療費は増加傾向と考える。今後、5年、10年のスパンで評価する必要がある。



中間評価後の見直し

		ストラクチャー評価	プロセス評価	アウトプット評価	アウトカム評価
次年度へ向けて	特定健康診査	次年度以降も継続する。	次年度以降も継続する。	受診率と受診者数の結果をもって評価する。	一人当たり医療費の推移をもって評価する。

個別保健事業 事業評価シート（中間評価）

保険者名： 八潮市 事業名： 特定健康診査

事業目標： 生活習慣病予防対策の充実・強化

特定健康診査受診率	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
目標値	60%	40%	42%	44%	50%	55%	60%
実績	38.3%	37.8%	38.6%	集計中	-	-	-

		ストラクチャー評価	プロセス評価	アウトプット評価	アウトカム評価
目標と実績の違い及び課題等	受診勧奨	<ul style="list-style-type: none"> ・ 担当者の役割、分担 正規職員1名 委託職員2名 (いずれも非専門職) ・ 予算(R1年度) [受診勧奨ハガキ送付] 需用費 286,000円 役務費 620,000円 [電話での受診勧奨] 委託料 5,756,000円 	<ul style="list-style-type: none"> [受診勧奨ハガキ送付] ・ 未受診者世帯ごとにはがきを送付した。 ・ 危機感を持たせるデザインで受診を促した。 [電話での受診勧奨] ・ 未受診者に全員に対し個別に架電して勧奨する。 ・ 連絡がつかなかった未受診者には、再勧奨を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> [受診勧奨ハガキ送付] H28年度 6,244世帯 H29年度 8,777世帯 H30年度 8,868世帯 R1年度 7,747世帯 R2年度 7,394世帯 [電話での受診勧奨] H28年度 7,168名 H29年度 6,679名 H30年度 6,172名 R1年度 5,197名 R2年度 4,738名 	<ul style="list-style-type: none"> [受診勧奨ハガキ送付後の受診率] H28年度 22.4% H29年度 28.0% H30年度 25.3% R1年度 21.5% R2年度 21.2% [電話での受診勧奨後の受診率] H28年度 38.6% H29年度 41.9% H30年度 42.2% R1年度 42.8% R2年度 34.2%
	特定健康診査受診促進	<ul style="list-style-type: none"> [さいかつ農協での結果提供依頼活動] ・ 担当者の役割、分担 正規職員2名 さいかつ農協職員 (いずれも非専門職) 業務委託先医療機関 (さいかつ農協での結果提供活動は、三郷市、吉川市、松伏町による共同事業) [人間ドック補助金助成事業] ・ 担当者の役割、分担 正規職員1名 ・ 予算 負担金、補助及び 交付金 7,500,000円 	<ul style="list-style-type: none"> [さいかつ農協での結果提供依頼活動] ・ さいかつ農協各支店(八潮市、三郷市、吉川市、松伏町)でPR活動を行った。 [人間ドック補助金助成事業] ・ R1年度より開始。健診結果の提供を人間ドック補助金申請要件とし、健診結果の把握に努めた。 ・ 特定健診受診券の封筒に案内を同封し、周知した。 	<ul style="list-style-type: none"> [さいかつ農協での結果提供依頼活動] H28年度 28名 H29年度 24名 H30年度 26名 [人間ドック補助金助成事業] R1年度 103名 	<ul style="list-style-type: none"> 本事業により、受診率が向上した。 [さいかつ農協での結果提供依頼活動] H28年度 0.19pt H29年度 0.17pt H30年度 0.20pt [人間ドック補助金助成事業] R1年度 0.84pt
	PR活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 担当者の役割、分担 枝豆まつり 職員2名 市民まつり 職員2名及び健康増進課職員 健康まつり 職員2名 東部地区保険者合同PR 職員3名 ・ 予算(R1年度) 消耗品費 101,520円 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各イベント会場(枝豆まつり、市民まつり、健康まつり、東部地区保険者合同PR)にて、来場者に特定健康診査をPRするためにポケットティッシュやうちわを配布した。 	<ul style="list-style-type: none"> 配布数 うちわ R1年度 1,000本(推定) ポケットティッシュ R1年度 5,000個(推定) R2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で全て中止。 	<ul style="list-style-type: none"> 【受診率】 H28年度 37.0% H29年度 38.3% H30年度 37.8% R1年度 38.6%

改善策の検討	受診勧奨	対象者全員に受診勧奨を行うことができているため、現状の体制で十分に達成できている。	<p>[受診勧奨はがき送付]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発送時期を9月頃に早め、送付対象者数を増やし、受診者増加につなげる。 ・ 文面を見直し、受診への訴求力を向上させる。 <p>[電話での受診勧奨]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 被保険者の類型別に優先順位をつけて勧奨を実施する。 	<p>[受診勧奨はがき送付]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 世帯内の対象者で1人でも未受診者がいる場合に送付することを検討する。 <p>[電話での受診勧奨]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 左記に同じ 	勧奨後の受診率をもって評価する。
	特定健康診査受診促進	対象者全員に健診結果の提供について周知を図れているため、現状の体制で十分に達成できている。また、さいかつ農協での結果提供依頼活動は、H30年度を最後に終了。	<p>[さいかつ農協での結果提供依頼活動]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 手数料に係る歳出予算や事務量が増大した分に見合う効果があるか検証が必要 <p>[人間ドック補助金助成事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き周知に努める 	人間ドック補助金交付申請者数をもって評価する。	特定健診受診率のうち、左記事業に占めるポイントをもって評価する。
	PR活動	十分に達成できている。	啓発品を配りきることが目的となってしまうがちである。特定健診を実施していることを声を出して呼びかけること。	R3年1月時点で新型コロナウイルス感染症終息見込が立たず、R3年度に実施できるか不透明。	引き続き、本事業に興味を持ってもらえるような手法を検討する。



中間評価後の見直し

	ストラクチャー評価	プロセス評価	アウトプット評価	アウトカム評価
次年度へ向けて	受診勧奨	<p>[受診勧奨はがき送付]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ R2年度より、危機感を持たせるよう様式を変更した。 ・ 送付時期や対象者抽出の手順を見直す。 <p>[電話での受診勧奨]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受診に結びつく可能性が高いと思われる者に重点的に勧奨するよう、県、国保連等に助言を求める。 	勧奨者数をもって評価する。	勧奨対象者の受診率をもって評価する。
	特定健康診査	<p>[さいかつ農協での結果提供依頼活動]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 再開の是非について検討する。 <p>[人間ドック補助金助成事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き周知に努める 	人間ドック補助金支給者数をもって評価する。	特定健診受診率のうち、左記事業に占めるポイントをもって評価する。
	PR活動	引き続き、事業遂行に必要な人員と予算を確保する。	年代に合わせたアプローチを行う。30歳代以下の者には家族に呼びかけるようアピールする。	啓発品配布数(概数)をもって評価する。

個別保健事業 事業評価シート（中間評価）

保険者名： 八潮市 事業名： 特定保健指導

事業目標： 生活習慣病予防対策の充実・強化

特定保健指導利用率	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
目標値	60%	28%	32%	40%	48%	55%	60%
実績	18.1%	8.4%	13.2%	集計中	-	-	-

		ストラクチャー評価	プロセス評価	アウトプット評価	アウトカム評価		
目標と実績の違い及び課題等	動機付け支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予算 (R1年度) 国保特会 委託料 5,193,000円 ・ 委託業者の選定 特命随意契約にて 業務委託契約を締結している。 ・ 担当者の役割 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国保年金課職員 1名 (非専門職) 事務処理担当 ・ 保健センター職員 1名 (専門職) 特定保健指導担当 (保健センター分) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会場型、訪問型を設定し、利用者の都合に合わせる。 ・ 動機付け支援の一部は保健センターが実施している。 	[実施率] H28年度 7.9% H29年度 18.1% H30年度 8.4% R1年度 13.2% [検査結果の変化] H28年度 <ul style="list-style-type: none"> ・ 動機付け支援平均 体重66.8kg→65.1kg 腹囲91.3cm→89.0cm ・ 積極的支援平均 体重77.3kg→75.3kg 腹囲96.3cm→94.3cm R1年度 <ul style="list-style-type: none"> ・ 動機付け支援平均 体重68.3kg→67.5kg 腹囲91.3cm→90.8cm ・ 積極的支援平均 体重70.3kg→69.7kg 腹囲95.0cm→94.3cm 	R1年度実施者健診結果推移 (平均) [動機付け支援] 収縮期血圧 +6.5% 拡張期血圧 +6.3% 中性脂肪 +11.0% HDLコレステロール +4.1% LDLコレステロール -2.7% 血糖 -0.6% HbA1c -0.6% [積極的支援] 収縮期血圧 +6.0% 拡張期血圧 +6.8% 中性脂肪 +17.0% HDLコレステロール +0.8% LDLコレステロール +1.4% 血糖 +11.7% HbA1c -2.5%		
	積極的支援					<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年9、12～2月、広報やしおに掲載。 	年度ごとにばらつきがあり、H29年度を除き、10%前後で推移している。
	特定保健指導実施率 向上対策					<ul style="list-style-type: none"> ・ 委託業者より個別に電話及び文書にて参加を勧奨する。 	

改善策の検討	動機付け支援	申込者全員に保健指導を実施できており、引き続き現状の体制で実施する。	・会場型、訪問型を設定し、利用者の都合に合わせる。 ・R2年度より、遠隔（ICT）型による支援を開始。	[実施率] 目標達成に努める。 [検査結果の変化] 委託業者に、利用者の検査結果改善ができるよう指示する。	検査結果の改善状況をもって評価する。
	積極的支援				
	特定保健指導実施率向上対策	PR活動	対象者全員に保健指導の案内を実施できており、引き続き現状の体制で実施する。	・広報やしおへの掲載を継続する ・当市が主宰する事業であることを対象者に理解してもらうこと。	
	個別勧奨	対象者全員に保健指導の案内を実施できており、引き続き現状の体制で実施する。	・引き続き、委託業者に勧奨に努めてもらう。		



		ストラクチャー評価	プロセス評価	アウトプット評価	アウトカム評価
次年度に向けて	動機付け支援	引き続き、事業遂行に必要な人員と予算を確保する。 ・委託業者と十分な打ち合わせを行う。	引き続き、会場型、訪問型を設定し、利用者の都合に合わせる。 ・R2年度からは遠隔（ICT）型も設定する。	実施率及び検査結果の変化をもって評価する。	検査データの改善状況をもって評価する。
	積極的支援				
	特定保健指導実施率向上対策	PR活動	引き続き、事業遂行に必要な人員と予算を確保する。	・広報やしおへの掲載を継続する ・当市が主宰する事業であることを対象者に理解してもらうこと。	
	個別勧奨	引き続き、事業遂行に必要な人員と予算を確保する。	・委託業者に業務委託 ・動機付け支援対象者の一部を保健センターで実施		

個別保健事業 事業評価シート（中間評価）

保険者名： 八潮市 事業名： 糖尿病性腎症重症化予防対策事業
 （旧称：生活習慣病重症化予防事業）

事業目標： 生活習慣病の重症化予防事業

人工透析新規患者数	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
目標値	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
実績	0人	0人	0人	集計中	-	-	-

※ 本事業の保健指導を終了した者

		ストラクチャー評価	プロセス評価	アウトプット評価	アウトカム評価
目標と実績の違い及び課題等	受診勧奨通知	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予算(R1年度)負担金、補助及び交付金 5,891,000円 ・ 埼玉県共同事業に参加。同事業は株式会社NTTデータに委託している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健診やレセプトデータより、糖尿病の疑いがある者に対し、電話や文書にて受診勧奨を行う。 ・ 傷病名に糖尿病と記載があるもその後長期間受診していないと思われる者に対し、電話や文書にて受診勧奨を行う。 	[対象者数/勧奨実施者数/受診者数] H28年度 271人/244人/45人 H29年度 246人/198人/40人 H30年度 186人/153人/19人 R1年度 96人/75人/15人	[R1年度受診勧奨対象者で受診した者のR2健診検査値] HbA1c(平均) 6.2%→6.0% eGFR(平均) 74.5ml/分/1.73m2 →60.5ml/分/1.73m2 収縮期血圧(平均) 131.5mmHg →124.6mmHg 拡張期血圧(平均) 74.9mmHg→72.7mmHg
	保健指導		<ul style="list-style-type: none"> ・ 糖尿病性腎症第2～4期の者を対象に、委託業者による保健指導を実施する。 ・ 対象者は市内の健診実施医療機関をかかりつけ医としている者とする。 	[対象者数/保健指導実施者数/保健指導終了者数] H28年度 56人/5人/4人 H29年度 111人/3人/3人 H30年度 67人/5人/3人 R1年度 77人/6人/6人	[R1年度保健指導終了者の検査値] HbA1c(平均) 7.1%→7.1% eGFR(平均) 84.3ml/分/1.73m2 →82.4ml/分/1.73m2 収縮期血圧(平均) 138.4mmHg →136.8mmHg 拡張期血圧(平均) 75mmHg→78.6mmHg 尿蛋白(-)～(±)の人数 0人→0人 [人工透析開始人数] 平成28年度以降に本事業参加した者で、平成31年度現在人工透析を開始した者は、0人。

改善策の検討	受診勧奨通知	対象者全員に保健指導の案内を通知できており、引き続き現状の体制で実施する。	受診勧奨ハガキについて、委託事業者と協議し、危機感を持たせる表現を検討する。	・勧奨業務は委託業者が行うので、当市の委託を受けていることを理解させる必要がある。	引き続き、糖尿病性腎症の重症化予防を呼びかける。
	保健指導		保健指導の効果は高いため、継続して現状の指導を実施していく。	・参加者数が少ない ・対象者、医療機関関係者とも、特定保健指導や他事業の保健指導と混同しているように見受けられる。	引き続き、新規人工透析患者が0人となるように努める。



		ストラクチャー評価	プロセス評価	アウトプット評価	アウトカム評価
次年度へ向けて	受診勧奨通知	対象者全員に保健指導の案内を通知できており、引き続き現状の体制で実施する。	勧奨方法について、委託事業者と協議し、危機感を持たせる表現を検討する。	実施率及び実施者の検査結果の変化をもって評価する。	検査データの改善状況をもって評価する。
	保健指導	対象者全員に保健指導の案内を実施できており、引き続き現状の体制で実施する。	保健指導の効果は高いため、継続して現状の指導を実施していく。	実施率及び実施者の検査結果の変化をもって評価する。	検査データの改善状況をもって評価する。

個別保健事業 事業評価シート（中間評価）

保険者名： 八潮市 事業名： 医療費適正化対策

事業目標： 後発医薬品の使用促進

一人当たり医療費(円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
実績	268,842	277,189	284,213	集計中			

		ストラクチャー評価	プロセス評価	アウトプット評価	アウトカム評価
目標と実績の違い及び課題等	ジェネリック医薬品差額通知	・通信運搬費(R1年度) 184,000円	毎年4月と10月に通知書を発送している。	発送件数 H28年度 764件 H29年度 1,075件 H30年度 891件 R1年度 620件 R2年度 545件	ジェネリック医療品利用率 H28年度 71.6% H29年度 73.6% H30年度 78.8% R1年度 81.7%
	医療費通知	・通信運搬費(R1年度) 3,360,000円	年に6回医療費通知を発送している。	発送件数 H28年度 55,538件 H29年度 53,165件 H30年度 51,415件 R1年度 54,133件	一人当たり医療費 H28年度 262,241円 H29年度 267,491円 H30年度 271,492円 R1年度 284,400円
	明細書点検 診療報酬	・レセプト点検員(非常勤)4名 ・予算(R1年度)報酬 6,282,000円 共済費 801,000円	レセプト点検を強化することにより、より多くの医療費の不正請求及び過誤請求等を発見し、医療費支出の抑制につなげる。	点検件数 H28年度 350,622件 H29年度 328,854件 H30年度 313,251件 R1年度 296,795件	財政効果率 H28年度 0.14% H29年度 0.15% H30年度 0.22% R1年度 0.16%
改善策の検討	ジェネリック医薬品差額通知	対象者全員に通知できており、引き続き現状の体制で実施する。	平成24年度から埼玉県国民健康保険団体連合会にて実施。今後も本事業を継続する。	発送件数をもって評価する。	利用率をもって評価する。
	医療費通知	対象者全員に通知できており、引き続き現状の体制で実施する。	平成24年度から埼玉県国民健康保険団体連合会にて実施。今後も本事業を継続する。	発送件数をもって評価する。	一人当たり医療費の推移をもって評価する。
	明細書点検 診療報酬	対象を全件点検できており、引き続き現状の体制で実施する。	今後も本事業を実施する。	点検件数をもって評価する。	財政効果率をもって評価する。



		ストラクチャー評価	プロセス評価	アウトプット評価	アウトカム評価
次年度へ向けて	医薬品差額通知 ジェネリック	対象者全員に通知できており、引き続き現状の体制で実施する。	次年度以降も毎年4月と10月に通知書を発送する。	発送件数をもって評価する。	利用率をもって評価する。
	医療費通知	対象者全員に通知できており、引き続き現状の体制で実施する。	次年度以降も年に6回医療費通知を発送している。	発送件数をもって評価する。	一人当たり医療費の推移をもって評価する。
	明細書点検 診療報酬	レセプト全件を点検できており、引き続き現状の体制で実施する。	継続して事業を実施する。	点検件数をもって評価する。	財政効果率をもって評価する。

**第2期八潮市国民健康保険保健」事業実施計画
(データヘルス計画)**

・

第3期八潮市特定健康診査等実施計画

中間評価報告書

発行 八潮市
編集 八潮市役所 国保年金課
〒340-8588 八潮市中央一丁目2番地1